

緑の下の

力もち

青パトで、観光客も多い東山地域の安心安全を守る

「青パト」こと青色防犯パトロー
 ル車両をご存じだろうか。天井に
 青色回転灯を載せて地域をパト
 ロールする。パトカーとの違いは赤
 色灯ではないこと。でも、その巡回
 は犯罪抑止に効果がある。

青パトを走行させるのは警察で
 はなく、ボランティアの防犯推進委
 員。この活動で注目されているのが
 清水寺や祇園花街などのある東山
 地区だ。

「8年前に協議会会長になって初
 めて青パトの存在を知り、観光客
 も多い東山地域には必要と思い、
 防犯推進委員の自家用車に青色
 灯を載せてもらい、青パト活動を開
 始した」と語るのには、東山防犯推進
 委員協議会長の宮野孝文さんだ。

東山区11支部の防犯推進委員が
 小中一貫校の登下校時を中心に青

パト巡回を行う他、管内に不審者
 が出没すると重点的に回り、防犯
 効果を上げてきた。しかし当初は
 個人車ゆえに委員の負担が大き
 かったため、2014年に、パトカー
 さながら白と黒のボディの専用車
 両の寄付を実現。別の関係機関へも
 働きかけて、年間約20万円の維持
 費用や専用駐車場も確保した。

それだけではない。青パトを知ら
 ない若い警官の啓蒙を管轄署に働
 きかけ認知を徹底、今ではすれ違
 うと挨拶を交わす。警察との連携
 で、防犯推進委員のモチベーション
 も上がった。

地域の防犯は警察と住民が力を
 合わせて支えるものだ。警察の「お
 墨付き」であることが「目でわかり、
 機動性の高い青パトの毎日の巡回
 が、地域安全を地道に支えている。



地域の防犯は、
 子どもたちの未来を
 守ることに直結しています。
 だから
 がんばれるんです。

みやの たかふみ
宮野孝文さん

1947年、京都市東山区生まれ。工務店を設立後、数寄屋建築や宮川町歌舞
 練場をはじめとする伝統建築を手がける。60歳を機に地元の防犯推進委員を
 引き受け、2011年より協議会会長に。計画性と強い信念、妥協を許さない実
 行力で、地元企業や警察まで巻き込んで、青パト活動に取り組んでいる。



東山防犯推進委員協議会へ、三洋化成社会貢献財団から
 青パトが寄贈された式典のパレード。祇園をはじめ、観光地
 の集まる東山地区で、防犯効果に期待が寄せられる。



三洋化成社会貢献財団では、車両に加え、10年間のガソリ
 ン代や自動車保険料などの維持費も負担する。京都府警によ
 ると、車両を寄贈する財団が維持費も負担するのは全国
 初とのこと。

Tomorrow's solutions, today



はたらきを化学する。

私も力もちです

三洋化成社会貢献財団は、10月に東山防犯推進委員協議会へ青パ
 トを寄贈しました。地域の防犯を支える青パトと同様、三洋化成は機
 能化学品を通じて、暮らしや産業のさまざまな分野を支えています。

三洋化成工業株式会社

京都市東山区一橋野本町1-1
 もよりバス停は「泉涌寺道」

Twitter 始めました

@sanyochemical

2019年11月1日、
 当社は70周年を迎えました。

4月1日より、社章とロゴを新しくしました。